た。

# 2019年度事業報告書

### 2019年4月1日から2020年3月31日まで

NPO法人どんまい

- 1 事業実施の方針、活動について
- ① 共同生活援助事業所どんまいハウスでは、入居者の方が安心して自分らしく地域で暮せるよう、日常生活の中で様々な相談・支援を行い、主体的に生活できるようにサポートしてきました。また、松山市のワンステップ事業を活用した昼食体験や夕食体験、チャレンジ事業を活用した体験外泊等を行い、長期入院の方の退院促進に努めました。

2019年度 どんまいハウス実績

(2020年3月末 現在)

見学者数	新規入居者数	退所者数	入居者数
17名	4名	1名	31名

② 就労継続支援B型事業所どんまいクラブでは、2020年3月末現在で定員20名に対し登録者数31名、平均 通所者数18.5名でした。

昨年度に引き続き、自主製品の製作・販売、アメニティやDM等の委託作業、マンション清掃、品出し作業、 厨房清掃をはじめとする施設外就労を行い、授産収入を増加させることで、工賃額もアップすることがで きました。今まで行ってきた作業を一人一人が着実にこなすことで、丁寧で迅速な作業を継続的に進めら れていることもあり、各方面からの信頼につながっています。

今年度は1名の方が一般企業へ就労されました。 えひめ障がい者就業・生活支援センターや職業センター と連携し、職場定着のためのサポートを行い、現在も継続して勤務されています。

また、作業だけでなく研修旅行や忘年会等の年中行事やレクリエーションも積極的に行い、利用者間のつながりを深め、楽しみを共有することで地域生活での居場所としての役割を果たすことができました。

- ③ 就労継続支援B型事業所ゆっくりクラブは、令和2年3月末現在で定員20名、登録者数28名、令和1年度平均通所者数16.3名となっております。主な授産事業の弁当事業では、手作り弁当であることや野菜がたっぷり入っていることがお客様から喜ばれ、口コミでの紹介や他事業所へのケータリング数が増えたことにより、月平均の製造数が増加し工賃向上につながりました。また、昨年度に引き続き「医療機関と公共職業安定所の連携による就労支援モデル事業」により、1名の利用者が一般就労につながりました。新しい生活の中で不安を抱える利用者に対し、本人が相談できる場所の一つとして関係を保ち、安定した就労が持続できるよう継続的にサポートしています。その他、利用者からの声を基に研修旅行やレクリエーションを企画し、利用者間の親睦や社会性の向上につながりまし
- ④ 就労継続支援 B 型事業所いんさつの咲々屋は、2020年3月末現在で登録者数33名、2018年度の平均通所者数は17.9名でした。主な授産事業の印刷事業では、利用者の作業効率や技術向上により製品の質が上がり行政や民間企業などからのリピート数も増え、平均工賃月額2万円の目標工賃を達成しました。ICT・印刷の共同受注窓口である『えひめ ICT チャレンジド事業組合 (e-ICA)』にも登録し、定例会や研修会に参加し関係機関との連携や情報交換もおこない、行政からの新規での受注も増えています。また、昨年度に続きえひめ障がい者就業・生活支援センターや職業センターとの連携を通して就労支援に力を入れ、合同面接会を経て1名が一般企業へ就職しました。半年間はジョブコーチと連携して職場訪問を行い長期就労ができるようサポートし、半年経過後も継続して会社及び本人と連携を取っています。その他にも、忘年会や研修旅行など利用者間での親睦や社会性を図る機会を設け、地域のバザーや花見などにも参加しました。
- ⑤ 自立生活援助事業所まいさぽは 2019 年度新設し、地域移行支援事業を利用し精神科病院を退院された方 1 名の方の支援を行ってきました。定期的な訪問相談、同行支援を行い、様々な状況にご自身で対応できる力を身に付けられるよう支援を行ってきました。

新設事業所という事もあり、事業所としての方向性や土台作りなどに尽力しました。また、利用者の方に統一した支援が行えるよう事業所内での情報共有に努めました。

- ⑥ 指定一般・特定相談支援事業所まいんは令和2年3月末現在、契約数は計画相談(83名)、地域移行相談(5名)、地域定着相談(8名)です。計画相談では、利用者及びその家族が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、適切な相談、助言、援助等に努め、サービス等利用計画書の作成及び評価を行いました。地域移行については、一人でも多くの人が地域での生活を取り戻せるよう、退院を目指し、令和元年度は6名の方が退院いたしました。
- ⑦ シェアハウスこだちでは、5名の方が共同で生活をされています。週4日の生活支援を行っていましたが、 入居者の自立状況やサービスの調整により2019年12月より週3日の支援に変更しました。チャレンジ事業やワンステップ事業など松山市の地域移行・定着支援事業も活用しながら見学体験も随時おこないました。2020年3月には東側の側道との境界線工事をおこない、より生活しやすい環境となりました。
- ⑧ 法人のサロン事業として2019年9月に「さろんだぞう」がスタートしました。日中活動がしんどい方や一人暮らしに寂しさを感じている方への居場所の提供、地域移行地域定着支援事業の対象者が地域に慣れるための活動の場を提供しました。趣味やゲーム、パソコンなどを楽しみ自由に過ごせる「さろんだぞう」、一人暮らしの方が集まって一緒に夕食を食べる「どんまい食堂」、地域移行地域定着支援事業の対象者と一緒に昼食作りをする「さろんだぞうカフェ」を展開し、延べ93名の方が利用しました。顔見知りを増やし、地域での生活が豊かになるよう居場所の一つとしての役割を果たしました。

### 2 事業の実施に関する事項

### (1) 事業

定款の 事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	人数
	共同生活援助事業所どんまいハウス	4月1日 ~3月31日	松山市内	2 3名	松山市内の精神 障害者32名
	就労継続支援B型事業所 どんまいクラブ	4月1日 ~3月31日	松山市内	7名	松山市内の精神 障害者 31 名
障害者総合支援法に基づ く障害者福祉サービス事 業	就労継続支援B型事業所 ゆっくりクラブ	4月1日 ~3月31日	松山市内	8名	松山市内の精神 障害者 34名
	就労継続支援B型事業所 いんさつの咲々屋	4月1日 ~3月31日	松山市内	6名	松山市内の精神 障害者 38 名
	自立生活援助事業所 まいさぽ	4月1日 ~3月31日	松山市内	4名	松山市内の精神 障害者 1 名
障害者総合支援法に基づ く相談支援事業	一般・特定相談支援事業所 まいん	4月1日 ~3月31日	松山市内	3名	松山市内の精神 障害者83名
その他、当法人の目的を 達成するために必要な事 業	シェアハウスこだち	4月1日 ~3月31日	松山市内	48名	松山市内の精神 障害者 6 名
その他、当法人の目的を 達成するために必要な事 業	法人ピアサポート	4月1日 ~3月31日	松山市内	48名	
その他、当法人の目的を 達成するために必要な事 業	サロン事業 さろんだぞう	9月1日 ~3月31日	松山市内	6名	
その他、当法人の目的を 達成するために必要な事業	松山市のピアサポート事業 チャレンジ事業等への参加 協力、内外主催の研修会、他事 業所との交流会、勉強会など	4月1日 ~3月31日	松山市内	4 8名	

# 第2号議案 2019年度NP0法人どんまい活動報告書

月	日	活動	参加者
4 月	20 日	松山市地域移行検討会 松山記念春のふれあい祭り 職員研修(虐待防止について) 四国中央医療福祉専門学園より実習生受け入れ	河崎・濱石
5 月	18 日 23 日 22 日	ピア研修会 人権教育推進委員会 第16回NPO法人どんまい社員総会 職員向けピア研修(松山市保健所) 職員研修(就労定着事業について) 人権教育推進委員会 総会	濱石 講師、きらりの森 徳本氏
6 月	8 日 10 日	味酒・勝山会議(記念・どんまい・きらりの森) 管理者研修(どんまい・味酒の管理者) 地域交流研修会(松山記念病院ステップ) 職員研修(発達障がいについて)	管理者・サービス管理責任者 講師:近藤氏
7 月	6 日 10 日	法人サロン物件契約 きょうされん 支援連絡会議 職員研修(精神科救急について) 穴吹パティシエ福祉カレッジより実習生受け入れ サロン改修工事	講師、谷本理事長 実習担当 松浦
8 月	6 日 10 日	味酒・清水地区 地域交流会(記念・どんまい・きらりの森) 人権教育委員会 さろんだぞう開始 職員研修(薬について) まいん指定更新 聖カタリナ大学実習生 より実習生1名 健康診断	B型事業所 こころの栞代表 広瀬氏 講師:薬剤師会 実習担当 綾戸 全職員
9 月	5 日 26 日	人権教育委員会 保護観察所交流会 松山記念交流会 職員研修(地域移行について) 本町センター1階改築 こだち103号室改装	講師:濱石
10 月		地域移行交流会(北条地区) 職員・メンバー研修(感染症について)	濱石・中川 講師:保健師
11 月	26 日	職員研修(医療観察法) 集団指導 牧病院(認定看護師)より実習生1名	社会復帰調整官 長尾氏 実習担当 松田
12 月	9日 12日 13日 18日 20日	キャリアプランニング 事業所見学 職員研修(モチベーションアップについて) 法人忘年会 こだち忘年会 障がい者福祉サービス事業所会議(サビ管) まいさぽ実地指導 フォーラム打ち合わせ(ステップ)	講師:産業カウンセラー中田氏河崎
1 月	8日 9日 15日 27日	就労継続支援B型事業所 開所 支援連絡会議 フォーラム打ち合わせ 人権教育研究大会 職員研修(交通安全) 河原学園企業説明会	講師: JAF 中川・濱石

2 月	20 日 21 日 21 日 25 日 27 日	理事長・理事・管理者親睦会 家族会(サロン・ド・いずみにて座談会) 相談支援・サビ管スキルアップ研修	濱石 担当:山崎・池田 中川
3 月		職員研修(防災について)講師:竹田氏 城西勝山会	

### ■ 法人内定期開催

- ※ 精神保健福祉支援連絡会議(3カ月毎 奇数月)
- ※ 運営委員会(毎月1回 /理事長・理事・管理者)
- ※ 事業所会議(毎月1回 /管理者)
- ※ スタッフ会議(毎月1回 /職員全員)
- ※ 合同カンファレンス (毎月1回)
- ※ 虐待防止委員会(2カ月毎)
- ※ ピアサロン (毎月1回/第1水曜日)
- ※ さろんだぞう (毎月1回/第2水曜日)
- ※ どんまい食堂(毎月1回/第3金曜日)
- ※ さろんだぞうカフェ (毎月1回/第4金曜日)

### ■ 定例出席会議

- ※ 地域移行検討会(相談支援専門員·担当職員1名)
- ※ ピアマネジャー会 (ピアマネジャー2名)
- ピアサポート事業(別紙)

### ■ その他

- ※ 法人としては愛媛県・松山市の地域移行検討会への参加、ピアサポート事業、地域サロンの開設、人権教育推進協議会への参加、各大学、専修学校から実習性の受け入れなど、地域の精神保健福祉関係事業に積極的に参加協力しました。
- ※ 自立生活援助事業所まいさぽを開設。長期の入院から単身生活をされる方、グループホームから 単身生活に移行される方を対象に、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができる ように手厚い支援を行いました。
- ※ 障がい者の高齢化・重度化を見据え日中活動に参加できない方の居場所、長期入院患者の地域生活体験の場所、単身生活をされている当事者の方々が寂しくないように等、様々な活動が可能となるように、本町に物件を借りてサロン事業「さろんだぞう」を展開。名称を「さろんだぞう」とし、多くの方に利用していただいています。

# 2019年度ピアサポート活動について

## ≪法人ピア事業≫

#### 【活動報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
見学対応					2						1		3
同行支援								2	3				5
体験発表													
茶話会 その他 研修													
その他			1						1				2
研修		1											1
ピアサロン						1	1	1	1	1	1		6
さろんだぞうcafé						1	1	1	1	1		·	5
計	0	1	1	0	2	2	2	4	6	2	2	0	22

5月に研修・交流会を実施し知識の向上に努めた。同じく5月に職員対象で保健所で勉強会に参加し、松山市の取り組みやピアについて知識を深める事ができた。19年度より法人として場所を借りサロン事業を展開。ピアサポート事業からは毎月第1水曜にサポーターを対象としたピアサロン、地域移行や外部の方を対象としたさろんだぞうcaféにサポーターが協力した。

これまで2か月に1回行っていたピア実行委員会をピアサロンとして月に1回開催し、活動の振り返りや体験発表の練習、交流会などを行っている。

さろんだぞうcafeでは入院患者と一緒に昼食作りを行い、地域の仲間と安心して過ごせる居場所を提供している。

#### 【今後の課題】

月1回のピアサロンでは活動の振り返りや交流会、研修などを行ったが、普及・啓発の機会が少なかった。今年度はピアに興味のある方や地域移行など動機づけ支援を利用して退院された方などを対象に交流会を行う予定。ピア担当者会を定期的に開催し、ピアマネジャー、担当職員で協力してピアサポート体制をしっかりと作り、サポーターを支えていきたい。

# ≪松山市地域移行•地域定着支援事業≫

#### 【活動報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
①動機づけ支援(長期入院者)	1	9	3	4	10	1	5	6	1		4	1	45
②動機づけ支援(支援者)											1		1
③話し相手(病院)		1		1	1								3
④話し相手(訪問)	1	2	1	2	1	1	2	1	1	1	1		14
⑤同行支援			1		1	1							3
⑥見学対応													
⑦ピア相談													0
8 その他		2					2		1				5
計	2	14	5	7	13	3	9	7	3	1	6	1	71

1月に西条市で行われたピアサポーター研修・交流会に参加した。どんまいからは4名のピアサポーターが参加した。愛媛県全域のサポーターが集まり、各圏域での活動状況を知り、交流を深めることができた。他の圏域のサポーターの活動を知ることで、視野が広がり自身の活動を見つめ直すいい機会となった。

昨年度はGHでのワンステップやチャレンジ事業を利用した見学や夕食体験が充実しており、退院への動機づけに繋がっている。

活動回数には偏りがあるが、登録サポーターはそれぞれ1度は活動を実施することができており、活動後に振り返りを行い次の活動へ繋がるようなフィード バックを行っている。

ピアサポーター意見交換会(スキルアップ研修)が2回開催され、他の法人のピアサポーターや職員と意見交換を行った。

2ヶ月に1回開催されるピアマネジャー等連絡会に参加し、知識の向上、現状の課題の把握や今後の活動について検討した。

#### 【今後の課題】

2020年度のサポーター登録12名

2000年度のパープ ままれる。 昨年度はGHでの見学、体験などの動機づけ支援が充実していたが、現在GHの空きがないためGHの体験などは減少するかもしれない。入居にこだわらず、地域生活をイメージしてもらえるような見学対応の検討が必要。B型事業所では、ワンステップやチャレンジの実績が少なかったため、病院や入院患者へ向けての普及啓発を行っていくことや利用してもらうための送迎などの検討が必要となってくる。

### 2020年度事業計画書(案)

### 2020年4月1日から2021年3月31日まで

NPO法人どんまい

### 事業実施の方針

法人は、障害者共同生活援助事業所、障害者就労継続支援B型事業所、一般・特定相談支援事業所の運営を事業の柱として、精神障がい者の主体性、選択性を尊重した仲間作り、生きがい作り、障がい者の人権に配慮したまちづくりに寄与したいと考えます。

- ① 障害者共同生活援助事業所どんまいハウスでは、引き続き「いずみ」「こもれび」「わかば」「ひなた」「みなも」 5 施設の運営を行い、入居者の単身生活に向けた自立のサポートをしていきます。入居者されている方が主体 的な生活を送れるよう、日常生活の自立支援はもちろん、行事参加等も積極的に取り入れ、社会参加の機会を 作ります。また、松山市のワンステップ事業やチャレンジ事業を積極的に活用し、社会的入院の方の退院促進 を進めていきます。
- ② 就労継続支援B型事業所どんまいクラブでは、利用者に対して生産活動の機会を提供するとともに、利用者の個別の状況に応じた訓練を通して、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう支援を行います。利用者一人ひとりが自分らしい生活を送れるよう地域啓発や社会資源の提供に力をいれ、バザーや作業体験等を通し発信できる事業所を目指します。安定した工賃額を維持できるよう、それぞれの能力や特性に合わせた作業内容、効率を見直し、常に新しい視点で物事を見、提案できる力を身に着けます。また個々の真のニーズを引き出すアセスメント力やそれを支援に生かす技術力を向上させ、関係機関との連携を密にしながら満足度の高い支援を提供することで「明日も通いたい場所」となれる事業所を目指します。
- ③ 就労継続支援B型事業所ゆっくりクラブでは、日中活動や生産活動、その他の活動機会を提供し、個別支援計画をもとに、その知識及び能力の向上のために必要な支援や適切な指導、訓練を行っていきます。高齢の利用者やワンステップ事業の体験者など、幅広いニーズに対応できるよう、きめ細やかな支援を行い、そのための作業環境を整備します。弁当配食事業では、クオリティーを維持しながら、作業工程の効率化を図り、売り上げ向上を目指します。また、関係機関との連携を図りながら、本人のニーズや特性に合わせたアプローチで、継続的に就労支援を行っていきます。
- ④ 就労継続支援B型事業所いんさつの咲々屋は、一人ひとりの特性や得意なことを活かし協力しながら技術向上や効率化を図ることでその知識及び能力の向上のために必要な支援をすると共に適切な指導や訓練を行っていきます。新規顧客の開拓や共同受注の活動にも積極的に参加し販路拡大や利益向上により安定した平均工賃の支払いがおこなえるよう事業展開していきます。また、他機関と連携を図りながら職場見学や施設外支援など個人の就労支援に力を入れて積極的に行い、就労希望者のニーズに対応できる事業所を目指して少なくとも1名以上は就労に繋げることを目指します。その中で、利用者個々のニーズに合った関わりと隠れたニーズに気付き、その人の生活に合った社会資源や支援を行えることを目指します。
- ⑤ 自立生活援助事業所まいさぽは今年度も長期の入院から単身生活をされる方、グループホームから単身生活に移行される方を対象に利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように努めていきます。また、現在支援を行っている方については終了後の生活をイメージしながら必要な関わりを続けていきます。また、新規利用者の方に対してはアセスメントに力を入れ本人のペースでできる力を伸ばしていけるような関わりを行っていきます。
- ⑥ 指定一般・特定相談支援事業所まいんの今年度目標として、①フォーマルだけでなくインフォーマルにも視点を置き地域課題に結びつける②相談支援専門員のスキルアップ③利用者の潜在的なニーズを引き出し、本人の希望する生活を実現できるよう、サービス等利用計画書の作成および評価を行います。 また、地域移行支援事業・地域定着支援事業においては退院促進を目指し、地域生活の維持が困難になっている方が出来る限り地域で自分らしい安心した生活を送れるように支援を行います。

- ① シェアハウスこだちは、これから地域に出て社会生活を始めようと思っているが不安が残るという方、また、 家庭環境、住居等の事情により住居の確保が困難な方に対し、一定期間住居を提供し、自立に向けての日常生 活の最低限の援助をおこないます。地域の社会資源として活用していただき、定員6名の入居者が安心して生 活できるように関わります。
- ⑧ 私たちは一人でも多くの方が地域で安心して暮らせるように、ピアサポート事業を通して応援します。継続的なピアサポートの研修や交流会を行い、当事者と共に学び、ピアサポートを進め、ピアサポーターを支えていきます。また、他機関とも連携を図りながら、地域移行の促進を目指し、ピアサポート活動のさらなる充実につとめます。今年度も松山市の保健所サロンに協力していきます。

また、法人のサロン事業さろんだぞうを活用し、地域移行地域定着の対象者が地域での生活に慣れ、地域で暮らす当事者の生活が豊かになるよう進めていきます。

⑨ 法人として地域の活動に貢献すべく、地域行事への参加や啓発活動、また、行政の事業である地域移行定着支援事業、チャレンジ事業やピアサポート事業等に積極的に協力参加し、役割を果たせるべく進めていきます。

# 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

	ルに示る <del>すえ</del>			1	双光打在书
定款の 事業名	事 業 内 容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数
	共同生活援助事業 どんまいハウス	通年	松山市内	23名	松山市内の精神障害 者約32名
	就労継続支援B型事業所 どんまいクラブ	通年	松山市内	5名	松山市内の精神障害 者約35名
障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス事業	就労継続支援B型事業所 ゆっくりクラブ	通年	松山市内	9名	松山市内の精神障害 者約35名
7、子术	就労継続支B型事業所 いんさつの咲々屋	通年	松山市内	6名	松山市内の精神障害 者約35名
	自立生活援助事業 まいさぽ	通年	松山市内	4名	松山市内の精神障害 者約3名
障害者総合支援法に基 づく相談支援事業	一般・特定相談支援事業所まいん	通年	松山市内	2名	松山市内の精神障害 者約85名
その他、当法人の目的を 達成するために必要な 事業	シェアハウスこだち	通年	松山市内	48名	松山市内の精神障害 者約6名
その他、当法人の目的を 達成するために必要な 事業	法人ピアサポート	通年	松山市内	48名	全職員及び 実習生
その他、当法人の目的を 達成するために必要な 事業	サロン事業 さろんだぞう	通年	松山市内	48名	全職員及び 実習生
その他、当法人の目的 を達成するために必要 な事業	松山市のピアサポート事業 チャレンジ事業等への参加 協力、内外主催の研修会、他 事業所との交流会、勉強会 など	通年	松山市内	48名	全職員及び 実習生